



製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	MultiReporter Assay System -Tripluc®-ベクターシリーズ pSLG-test、pSLO-test、pSLR-test pSLG(PEST)-test、pSLO(PEST)-test、pSLR(PEST)-test pSLG-SV40、pSLO-SV40、pSLR-SV40 control pSLG-HSVtk control
製品コード	MRV-101, 102, 103, 201, 202, 203, 301, 501, 502, 503
会社名	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	バイオプロダクト営業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途および使用上の制限	ルシフェラーゼを用いたレポーターアッセイ（研究用試薬）

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性	
有害性	有害性に関する調査が不十分なので、取り扱いには注意する。
GHS分類	
物理化学的危険性	分類基準に該当しない
健康有害性	分類できない
環境有害性	分類できない

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物		
化学特性	核酸等の水溶液		
化学名	デオキシリボ核酸	トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン	エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム
別名	DNA	トリス	エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム
含有量	プラスミド 0.01%	TRIS 0.12%	EDTA・2Na 0.03%
化学特性(化学式)	-	(HOCH ₂) ₃ CNH ₂	C ₁₀ H ₁₄ N ₂ O ₈ Na ₂
CAS番号	-	77-86-1	139-33-3
官報公示整理番号 化審法 安衛法	対象外 (試験研究用)	2-318 公表	2-1265 2-4-116

危険有害成分 0.1%以上の危険有害成分は含まない。

化学物質管理促進法	該当しない
指定化学物質（政令番号）	
労働安全衛生法	該当しない
通知対象物（政令番号）	
毒物劇物取締法	該当しない
毒物・劇物（政令番号）	



製品安全データシート

4. 応急措置
- 吸入した場合
直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断を受ける。
多量の水で十分洗い流す。
 - 皮膚に付着した場合
目に入った場合
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。
 - 飲み込んだ場合
可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。
5. 火災時の措置
- 消火剤
水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤
 - 消火を行う者の保護
消火は風上から行う。
大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。
6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項
目、皮膚への接触、吸入を避ける。
 - 環境に対する注意事項
可能な限り回収する。回収後多量の水を用いて洗い流す。
 - 除去方法
可能な限り、減圧で吸引したり、ウェスなどに吸収させて密閉式の空容器に回収し、その後、大量の水で洗い流す。
7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い
 - 技術的対策
人体への接触を避けるよう十分に配慮する。
 - 注意事項
目、皮膚、衣服への接触を避け、取扱い後は充分洗浄する。 - 安全取扱い注意事項
 - 保管
 - 適切な保管条件
取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。
 - 安全な容器包装材料
密閉容器にて-20℃で保管する。
本製品に使用されている容器内で保管する。
8. 暴露防止及び保護措置
- 保護具
 - 呼吸器の保護具
必要に応じてマスクを着用する。
 - 手の保護具
ゴム手袋を着用する。
 - 目の保護具
保護眼鏡を着用する。
 - 皮膚及び身体の保護具
必要に応じて実験用の被服等を着用する。



製品安全データシート

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状	液体（凍結状態では固体）、無色透明
色、臭い	無色透明、無臭
pH	7.5～8.5
引火点	なし
爆発特性	常温では爆発性はない。
密度	1.0～1.2g/cm ³
溶解性	水に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性	-20℃で安定
反応性	通常の条件下では反応性は低い。
避けるべき条件	高温、直射日光、火災などによる強熱、強酸化剤、還元剤
危険有害な分解生成物	知見なし

11. 有害性情報

急性毒性	具体的なデータはないが、急性毒性は低いと考えている。
局所効果	同上

12. 環境影響情報

移動性	水溶性あり、水系に拡散する。
残留性・分解性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	その施設・地域の廃棄規則に準じて、廃棄物処理専門業者に処理を依頼する。
汚染容器・包装	その施設・地域の廃棄規則に準じて廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連勧告の定義上の危険物には該当しない
国内規制	輸送に関する法規制には該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

法規制	なし
-----	----



製品安全データシート

16. その他の情報

参考文献

「労働安全衛生法対象物質全データ」化学工業日報社
(2000年)

「化学物質管理促進法対象物質全データ」化学工業日報社
(2000年)

ACGIH (7th, 2001)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合
検索システム

制約事項

・本製品は組換えDNA分子です。本製品を大腸菌等の生細胞に移入する実験は、「組換えDNA実験」に該当しますので、文部科学省「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」（カルタヘナ法）等、使用施設における取扱い規則に従って下さい。

・記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、注意事項は通常取扱いを対象としたもので、特別取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。